

株主の皆さまへ
第69期 報告書

(2021年12月1日から2022年11月30日まで)



アスカ株式会社

証券コード：7227

目次

ごあいさつ	2
連結決算ハイライト	3
セグメント別概況	5
連結財務諸表	7
事業トピックス	11
会社概要	13
株式の情報	14



社名の由来

日本の文化や工業が発祥した飛鳥時代を連想させ、アスカの「文化」をつくり、「人と技術」に優れた会社になりたいという思いが込められています。また、国際化時代への意気を込めて、日本生まれ、日本育ちの企業らしく、日本語を語源としながらも発音しやすい「アスカ」としました。

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

第69期の報告書をお届けするにあたり、平素のご支援に対し心から厚くお礼申し上げます。

当期につきましては、次頁の連結決算ハイライト以降に示しましたとおりの経営成績とすることができました。当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染状況に終息がみえないものの、行動制限が緩和され、経済活動に回復の兆しが見え始めました。しかし、海外紛争の長期化や円安の進行による物価の高騰にともなう個人消費の低迷、世界的な半導体不足の問題等、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループが関わる自動車産業は、ハイブリッド車・電気自動車などのエコカーの普及や自動運転支援技術の加速、また、自動車が所有するものから利用するものになるといったライフスタイルの変化など、かつて経験したことのない急激な構造変化の波が押し寄せております。

当社グループといたしましては、「永続できる製造体質づくり」「利益重視の受注戦略」「思いやりのある会社づくり」に取り組み、「プライスアップ 価値を上げる仕事で所得倍増」を全社年間スローガンに掲げ、高付加価値型企業を目指すために、製造力・技術力を強化してまいります。

また、新技術、新商品、新事業分野の開発にこれまで以上に力を注いでまいります。

なお、業績の結果を踏まえ、期末の配当につきましては、1株につき22円とさせていただきます。中間配当16円と合わせ、年間38円の配当となりました。

2023年2月



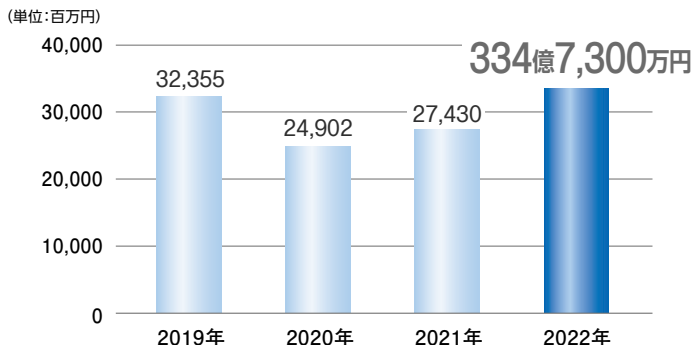
代表取締役社長
片山 義規

連結売上高

前期比

22.2%増 ↑

自動車部品事業の海外での生産台数の増加に加え、国内及び海外で、鋼材の価格上昇分が売価に反映された結果、前期比22.2%増の334億7,300万円となりました。

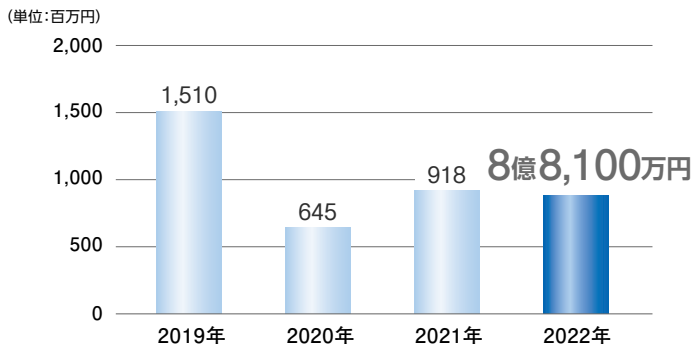


連結営業利益

前期比

4.0%減 ↓

自動車部品事業の国内で、得意先の稼働停止や制御システム事業での部品調達の遅れ等による、生産性の悪化に加え、運賃、修繕費、円安に起因して動力費が高騰し、経費が増加した結果、前期比4.0%減の8億8,100万円となりました。

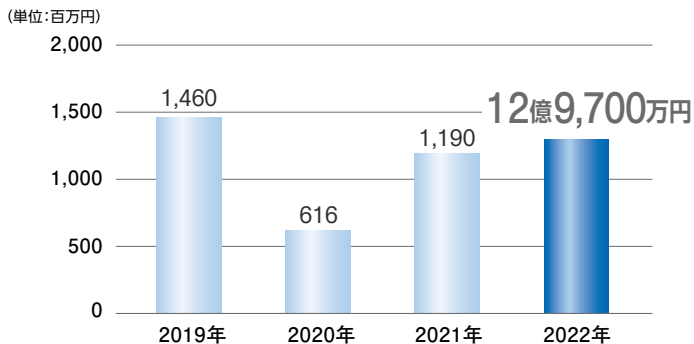


連結経常利益

前期比

9.0%増 ↑

円安ルピア高の進行により、為替差益が増加した結果、前期比9.0%増の12億9,700万円となりました。



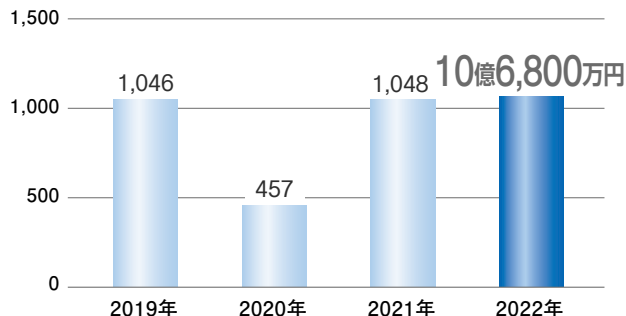
連結当期純利益

前期比

1.9%増 ↑

事業再構築補助金を受給しましたので、圧縮記帳により特別利益、特別損失にそれぞれ計上しております。

(単位:百万円)



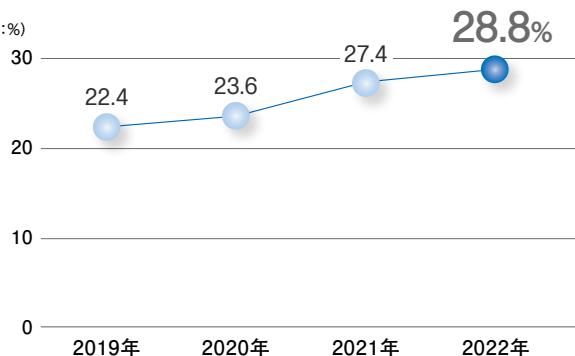
自己資本比率

前期比

1.4ポイント増 ↑

前期比1.4ポイント増の28.8%となりました。

(単位:%)



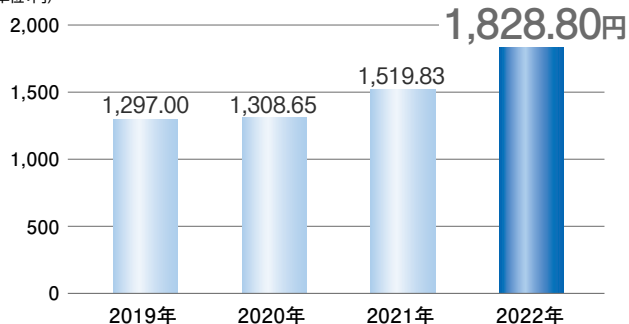
1株当たり純資産

前期比

20.3%増 ↑

前期比20.3%増の1,828.80円となりました。

(単位:円)



自動車部品事業

売上構成比
76.8%

売上高

257億1,300万円

(前期比 58億9,400万円増)

営業利益

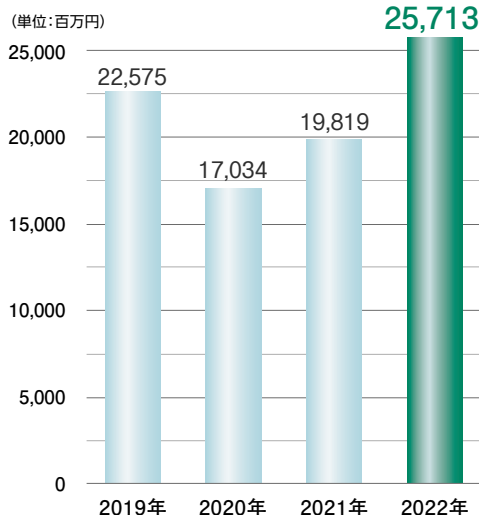
5億6,600万円

(前期比 200万円増)



売上高は257億1,300万円(前期比29.7%増)、営業利益は5億6,600万円(前期比0.3%増)となりました。

国内では、世界的な半導体不足や中国のロックダウンによる部品供給不足により生産調整を余儀なくされました。海外では、三菱系の既存車種の生産台数の増加及びトヨタ系の生産移管により部品売上高が増加しました。加えて、国内、海外ともに鋼材の価格上昇分が売価へ反映されました。



制御システム事業

売上構成比
9.1%

売上高

30億4,700万円

(前期比 2,400万円増)

営業利益

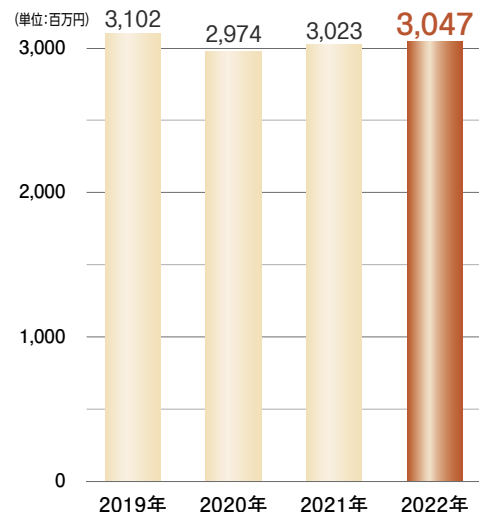
8,300万円

(前期比 6,200万円減)



売上高は30億4,700万円(前期比0.8%増)、営業利益は8,300万円(前期比42.7%減)となりました。

主要得意先からの受注及び大口件名の受注が減少しましたが、新規得意先からの受注で補うことができました。営業利益は部品価格の高騰に加え、部品供給不足による生産性の悪化により固定費が増加しました。



ロボットシステム事業

売上構成比
11.4%

売上高

38億2,600万円

(前期比 1億円増)

営業利益

6,200万円

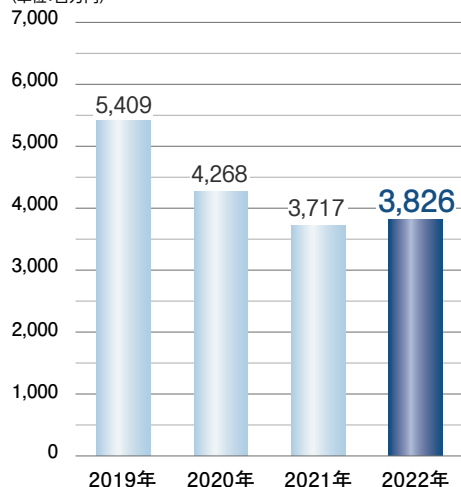
(前期比 2,900万円増)



売上高は38億2,600万円(前期比2.9%増)、営業利益は6,200万円(前期比83.7%増)となりました。

国内及び海外工場向けの自動化システムの国内受注は、新型コロナウイルス感染症の影響により、設備投資需要が減少したことに加え、受注単価低下の影響を受けましたが、海外での新車種立上設備の受注により、事業全体では増収となりました。

(単位:百万円)



モータースポーツ、賃貸及び太陽光事業

売上構成比
5.0%

売上高

17億700万円

(前期比 1億6,900万円増)

営業利益

1億6,700万円

(前期比 500万円減)

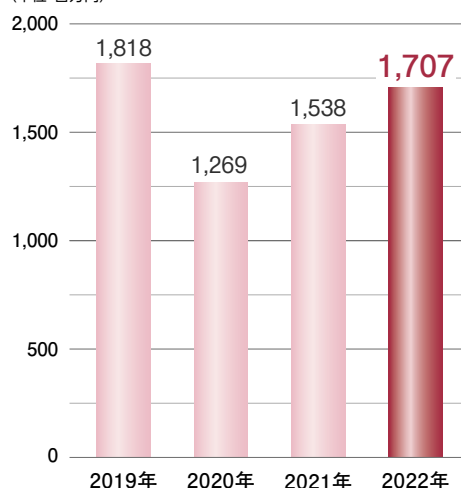


売上高はモータースポーツ事業で12億2,200万円(前期比15.9%増)、賃貸及び太陽光事業で4億8,500万円(前期比0.5%増)となりました。

営業利益はモータースポーツ事業で6,700万円(前期比13.7%減)、賃貸及び太陽光事業で9,900万円(前期比6.1%増)でした。

新型コロナウイルス感染症による行動制限の解除により、観客を動員したイベントを開催することができました。

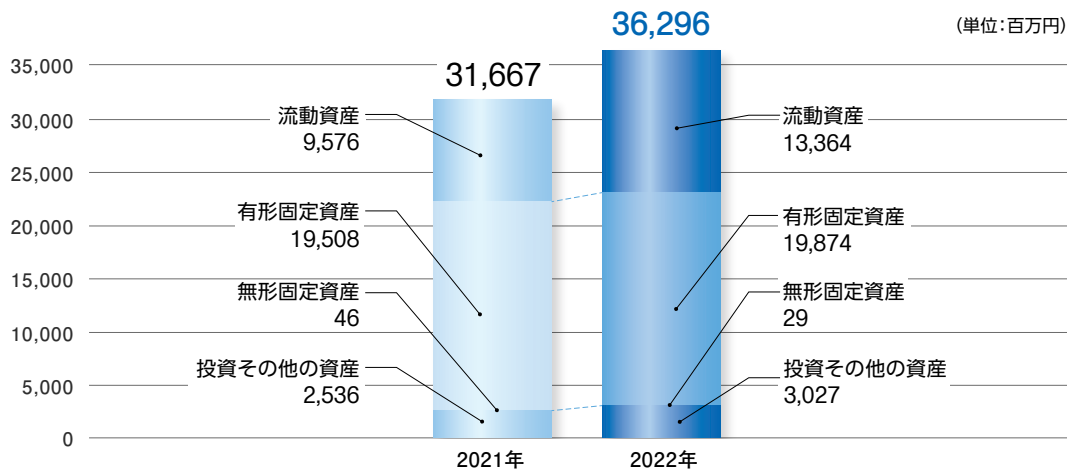
(単位:百万円)



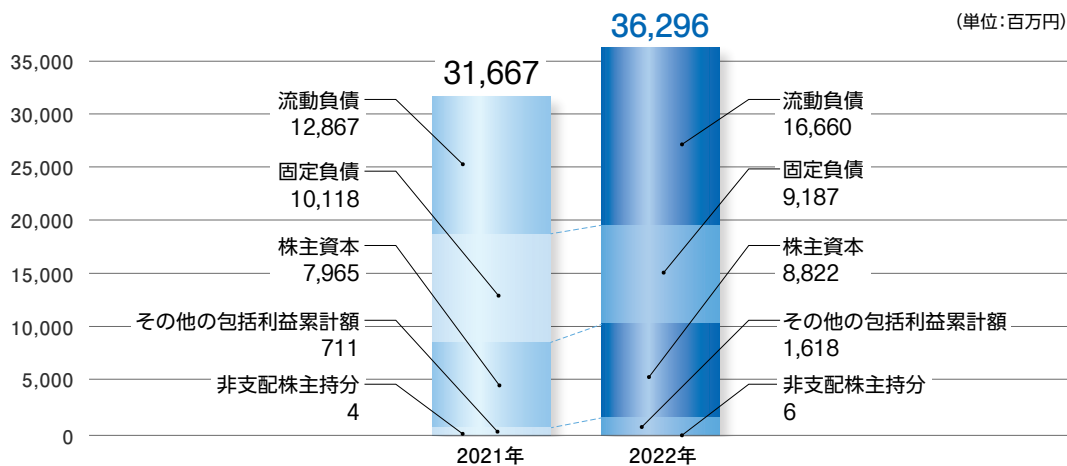
連結貸借対照表(要約)

(2022年11月30日現在)

● 資産の部

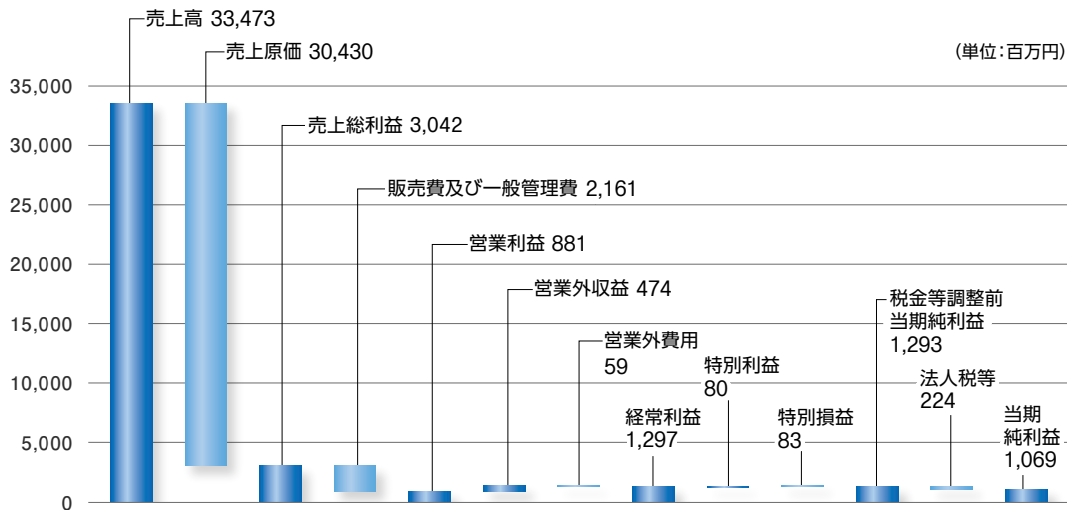


● 負債の部



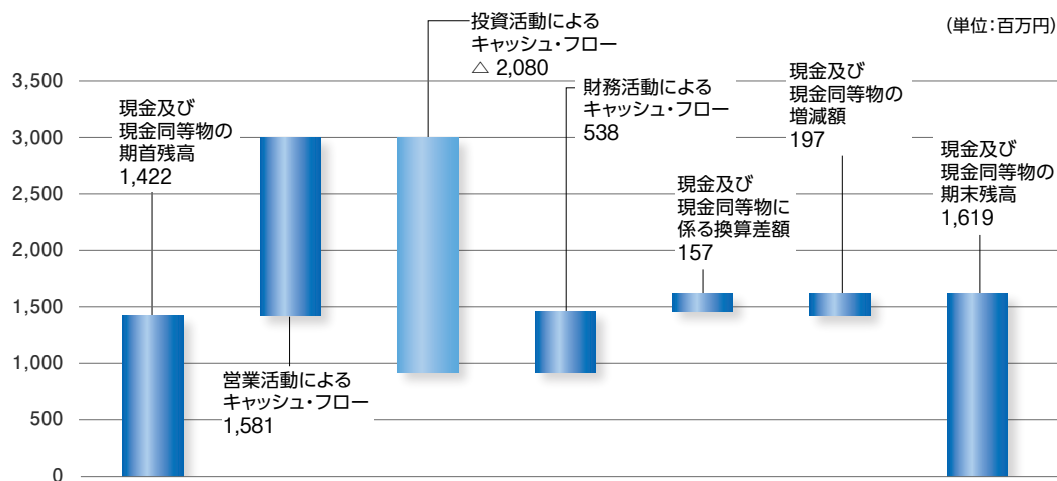
連結損益計算書(要約)

(2021年12月1日から2022年11月30日まで)



連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(2021年12月1日から2022年11月30日まで)



● 連結貸借対照表(要約)

(2022年11月30日現在)

(単位:千円)

科目	前期	当期
資産の部		
流動資産	9,576,664	13,364,707
現金及び預金	1,422,303	1,619,954
受取手形及び売掛金	4,846,094	6,098,718
商品及び製品	153,250	217,510
仕掛品	1,615,449	2,989,446
原材料及び貯蔵品	432,251	601,013
貸倒引当金	—	△ 17,057
その他	1,107,316	1,855,123
固定資産	22,091,155	22,931,263
有形固定資産	19,508,568	19,874,330
建物及び構築物	7,701,056	7,572,101
機械装置及び運搬具	3,844,843	4,817,604
土地	5,782,731	6,138,126
建設仮勘定	1,094,048	377,398
その他	1,085,887	969,100
無形固定資産	46,439	29,165
投資その他の資産	2,536,146	3,027,767
投資有価証券	1,843,335	2,414,435
長期貸付金	45,763	40,857
繰延税金資産	134,089	50,607
退職給付に係る資産	57,889	26,936
その他	455,067	494,929
資産合計	31,667,819	36,295,971

科目	前期	当期
負債の部		
流動負債	12,867,676	16,660,635
支払手形及び買掛金	3,238,614	4,772,602
電子記録債務	1,607,442	1,969,955
短期借入金	2,030,000	3,540,000
1年内返済予定の長期借入金	3,407,042	3,804,605
リース債務	109,545	—
未払法人税等	225,190	64,804
賞与引当金	43,626	55,601
前受金	632,787	1,251,023
設備関係支払手形	71,749	—
その他	1,501,676	1,202,043
固定負債	10,118,447	9,187,681
長期借入金	8,528,279	7,815,722
リース債務	289,515	—
繰延税金負債	19,274	76,639
役員退職慰労引当金	413,665	420,415
退職給付に係る負債	797,620	798,474
その他	75,091	76,429
負債合計	22,986,124	25,848,317
純資産の部		
株主資本	7,965,930	8,822,675
資本金	903,842	903,842
資本剰余金	900,444	900,444
利益剰余金	6,165,296	7,022,116
自己株式	△ 3,653	△ 3,727
その他の包括利益累計額	711,601	1,618,769
その他有価証券評価差額金	596,044	891,045
為替換算調整勘定	93,986	730,752
退職給付に係る調整累計額	21,570	△ 3,028
非支配株主持分	4,163	6,209
純資産合計	8,681,695	10,447,654
負債純資産合計	31,667,819	36,295,971

● 連結損益計算書(要約)

(単位:千円)

(2021年12月1日から2022年11月30日まで)

科目	前期	当期
売上高	27,403,095	33,473,455
売上原価	24,579,744	30,430,898
売上総利益	2,823,351	3,042,557
販売費及び一般管理費	1,905,108	2,161,162
営業利益	918,243	881,394
営業外収益	352,858	474,897
営業外費用	81,088	59,229
経常利益	1,190,013	1,297,062
特別利益	170,591	80,000
特別損失	300	83,622
税金等調整前当期純利益	1,360,304	1,293,440
法人税、住民税及び事業税	336,494	198,698
法人税等調整額	△ 24,438	25,652
当期純利益	1,048,248	1,069,088
非支配株主に帰属する当期純損失	218	1,017
親会社株主に帰属する当期純利益	1,048,029	1,068,071

● 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:千円)

(2021年12月1日から2022年11月30日まで)

科目	前期	当期
営業活動による キャッシュ・フロー	3,263,852	1,581,394
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 836,913	△ 2,080,268
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 2,788,326	538,941
現金及び現金同等物に 係る換算差額	85,060	157,583
現金及び現金同等物の 増減額	△ 276,326	197,650
現金及び現金同等物の 期首残高	1,698,629	1,422,303
現金及び現金同等物の 期末残高	1,422,303	1,619,954

DOBOT 正規代理店

人手不足の解消、作業効率化のため製造業を中心に産業用ロボットが導入されてきましたが、それらのほとんどは大きく、また安全のため作業者が近づけないように囲わなければなりません。しかし近年の技術革新によりロボットが小型化され、さまざまな安全対策を施すことによって一定の基準をクリアすることで、柵のない環境で人と共存することができ、人とロボットの共同作業が可能になりました。アスカは、教育用ロボットで世界シェアNO.1のDOBOT社の正規代理店になりました。工程の企画から設計、アフターサポートまで一貫して管理いたします！
まずは何でもご相談ください！

【DOBOTの特徴】

- ・安価な導入が可能
- ・セーフスキンを使用した衝突前停止や自動障害物回避などの安全機能強化
- ・簡単設置(最短20分)
- ・簡単操作
(ダイレクトティーチ、ブロックリー等)
- ・各種アプリやソフトを使用した二次開発



幸田工場に3500トントランスファープレス導入

2018年の本社工場に続き、2022年7月に幸田工場へ3500トントランスファープレスを導入しました。

大型のプレス機の導入とアスカの技術により、加工の難しい高張力鋼板の加工を可能とします。

高張力鋼板は薄くて硬い特性があるので、今までより薄くても強度がある部品を自動車メーカーに提供することができるため、部品の軽量化が図れます。

このことにより車体の軽量化が必要となる電気自動車などの次世代自動車の生産に貢献していきます。



「Pt.Auto Aska Indonesia」設立10周年

インドネシアに設立したPt.Auto Aska Indonesia (AAI)は、設立から10周年を迎えることができました。

近年では新型コロナウイルス感染症によるロックダウンなどがありましたが、お客様やサプライヤー様、従業員のお陰で操業を続けることができました。

今後も皆さまより信頼される“より良い会社”を目指して、インドネシアの発展に寄与し継続して経営できるよう力を合わせて精進していきます。



会社概要

社名	アスカ株式会社
英文社名	ASKA CORPORATION
設立	1953年(昭和28年)12月25日
資本金	903,842,275円
社員数 (2022年 11月30日現在)	630名 非常勤3名、子会社への 出向者25名は含まれておりません
取引銀行	三井住友銀行、三菱UFJ銀行、 愛知銀行、三十三銀行、 商工組合中央金庫、 大垣共立銀行、十六銀行、 百十四銀行、みずほ銀行、三菱UFJ信託銀行 百五銀行、信金中央金庫

事業所

本社 本社工場	〒448-0002 愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地 TEL 0566-36-7771 FAX 0566-36-8090
幸田工場	〒444-0122 愛知県額田郡幸田町大字六栗字平松14番7 TEL 0564-62-6511 FAX 0564-62-6542
高浜工場	〒444-1301 愛知県高浜市新田町三丁目1番地3 TEL 0566-54-2435 FAX 0566-54-2436
豊田工場	〒473-0923 愛知県豊田市中根町大切50番地1 TEL 0565-51-2755 FAX 0565-52-1245

事業内容

自動車部品事業	ピラー、サイドルーフレール、 フロアクロス、ルーフボウ、 ラジエーターサポート、 エンジンマウント等
制御システム事業	分電盤、制御盤、FAボックス、 制御装置、盤用キャビネット等
ロボットシステム事業	産業用ロボット「ユニロボ」、 自動化システム、情報通信機器等
モータースポーツ事業	岡山国際サーキットの経営
賃貸及び太陽光事業	倉庫・工場の賃貸業務、 太陽光発電による電力の売却

役員

(2023年2月22日から)

代表取締役社長	片山 義規
専務取締役	竹之内敏昭
常務取締役	片山 義浩
常務取締役	太田 雅文
常務取締役	神谷 政志
取締役(非常勤)	片山 敬勝
取締役	杉浦 隆浩
取締役	村井 敏宏
取締役	磯貝 啓治
取締役(常勤監査等委員)	奥山 和久
社外取締役(監査等委員)	丹治 正幸
社外取締役(監査等委員)	川辺 達也

株式の状況

(2022年11月30日現在)

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	5,715,420株
株主数	662名

大株主の状況

(2022年11月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社CIS	1,082,600	18.96
ニチアス株式会社	928,440	16.26
株式会社三井住友銀行	281,600	4.93
アスカ社員持株会	197,160	3.45
片山義規	165,600	2.90
片山敬勝	156,240	2.73
株式会社三菱UFJ銀行	150,000	2.62
株式会社愛知銀行	144,000	2.52
片山義浩	133,300	2.33
株式会社三十三銀行	114,000	1.99
株式会社商工組合中央金庫	114,000	1.99

株主メモ

事業年度	12月1日～翌年11月30日
期末配当金受領株主 確定日	11月30日
中間配当金受領株主 確定日	5月31日
定時株主総会	毎年2月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料)
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px;"> 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 </div>
上場証券取引所	名古屋証券取引所市場第二部
証券コード	7227

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届いただく必要があります。

公告の方法

電子公告により行います

◎ 公告掲載URL

<http://www.aska.co.jp/kessan/index.html>

ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

注意

株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。



アスカ株式会社

E-mail : aska-information@aska.co.jp

ホームページのご案内

<https://www.aska.co.jp>

アスカ株式会社のホームページでも、IR情報（投資家様向け情報）をご覧ください。ぜひ、こちらもご利用ください。

